

# おんしんの通信簿

決算の確定 と さわやかコンサート

第18号

この度の通常総代会のご承認をもちまして、平成17年度の成績(決算)がすべて確定いたしました。皆様からの日頃のご支援に対しまして、厚く御礼申し上げます。

決算につきましては、すでに前号の **おんしんの通信簿(第17号)** にて、**どこよりも早い速報** をお届けしておりますが、経常利益が僅かに変動したほかは、**速報** とおりに確定いたしました。詳しくは、裏面をご覧ください。

さて、かねてより不良債権を **細菌**、不良債権に対する担保・引当金を **治療(そなえ)** に例えて説明してまいりましたが、17年度の不良債権の割合(「不良債権比率」といいます)は、**8.94%** とさらに低下。しかも、大半の **細菌(不良債権)** にはしっかり **治療(そなえ)** が施されていますので、実質の「不良債権比率」はぐーんと下がります。こちらも、裏面をご覧ください。

**おんしん** では5月27日(土)に、恒例の **おんしんさわやかコンサート** を開催し、多くのご来場を賜いました。11月19日(日)には宗像ユリックスにて、今年もすてきなゲストをお招きし、**おんしん講演会** を行います。

**スモール イズ ナイス!**

私たち **おんしん** は、地域の皆さまと共にひたすら走り続けています。

平成18年6月



## 1. 平成17年度決算の主な計数

単位:百万円、%

	平成16年度	平成17年度	増減(率)
貸出金期末残高	105,884	109,468	3.38
預金期末残高	151,990	156,931	3.25
貸出金平均残高	105,122	105,507	0.36
預金平均残高	152,958	158,175	3.41
預貸率(期末残高)	69.66	69.75	0.09
預貸率(平均残高)	68.72	66.70	△ 2.02
業務純益	1,419	1,312	△ 7.52
経常利益	658	757	14.97
当期純利益	352	414	17.82
自己資本比率	12.15	12.12	△ 0.03

※ 単位未満は切捨て、増減率は円単位の計数を比較しています。

「地元経済への貢献度」といわれる預貸率は依然として業界平均より10%以上も高い水準です。

経常利益の757百万円は「速報」と同じですが、単位未満の変動により、円単位で比較する増減率が14.99から14.97%に変わりました。

健全性のメヤスとされる自己資本比率は、国の基準(4%)の3倍を超える高い水準です。

## 2. 不良債権（金融再生法開示債権）の内容

単位:百万円

		残高 a	保全額 b		保全率 b/a	
			担保・保証	引当		
金融再生法上の 不良債権 A	平成16年度	13,210	12,179	9,333	2,846	92.20%
	平成17年度	10,644	9,979	7,062	2,917	93.75%
破産更生債権及び これらに準ずる債権	平成16年度	7,104	7,104	4,774	2,330	100.00%
	平成17年度	6,441	6,441	4,097	2,344	100.00%
危険債権	平成16年度	4,546	3,995	3,559	436	87.88%
	平成17年度	3,441	3,191	2,658	533	92.73%
要管理債権	平成16年度	1,560	1,080	1,000	80	69.23%
	平成17年度	762	347	307	40	45.54%
正常債権	平成16年度	101,593				
	平成17年度	108,388				
合計 B	平成16年度	114,804	不良債権比率 A/B	平成16年度		11.51%
	平成17年度	119,033		平成17年度		8.94%

※ 不良債権の表示には、「金融再生法開示債権」と「リスク管理債権」の2つの方法があります。

「リスク管理債権」は、貸出金のみが対象ですが、上記「金融再生法開示債権」は、貸出金のほか債務保証、貸出金に伴う未収利息、仮払金なども含まれます。

不良債権比率が一段と低下。うち94%近くが保全されているため「実質不良債権比率」は、さらにぐんと下がります。

## 3. さわやかコンサートと講演会

響ホール室内合奏団選抜メンバーを招き、本部大ホールで開催するおんしんさわやかコンサートも5回を数えます。また、この秋には、11月19日(日)に宗像ユリックス大ホールにて、おんしん講演会を開催いたします。一昨年の北野大氏、昨年の畑正憲氏に続き、今年もすてきなゲストをお迎えします。ご期待ください。